

レックスの改善対策について

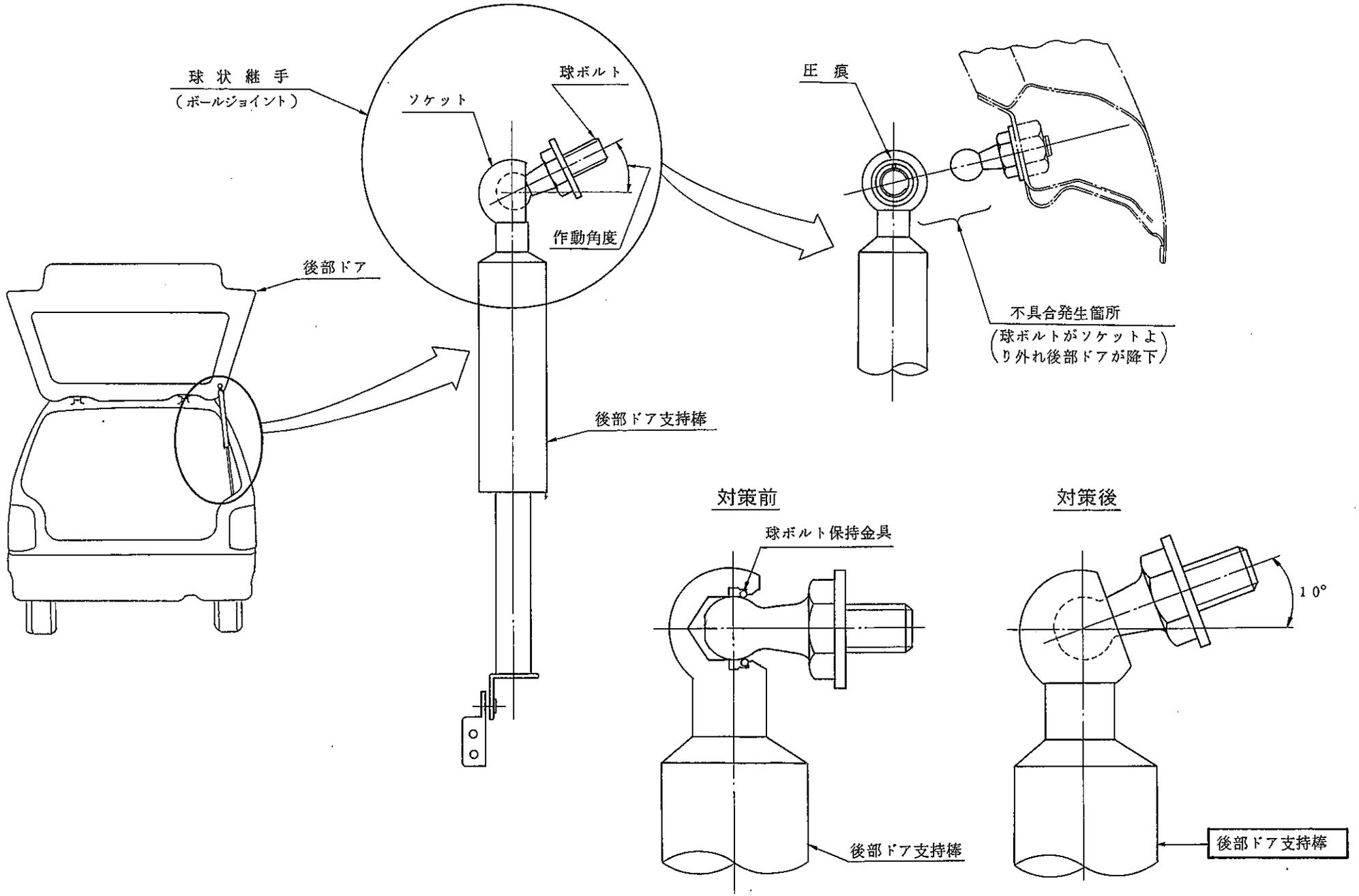
昭和 62 年 9 月 11 日

平成 62 年 9 月 11 日、富士重工業株式会社より、国土交通省にレックスの改善対策を届け出いたしました。

改善対策届出番号	34	改善対策開始日	昭和 62 年 9 月 11 日
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・対策実施済車には、その旨を定期点検整備記録簿に記載する。		

車名	型式	通称名	改善対策対象車の含まれる車台番号	改善対策対象車の製作期間	改善対策対象車の台数	不具合状態の状況及びその原因	改善の内容
スバル	E-KG1	スバル レックス	KG1-002001 }	昭和61年9月3日 }	15,389	後部ドア支持棒の球状継手(ボールジョイント)の作動角度に余裕が少ないため、ドア開閉時にソケット上部と球ボルトが強く接触するものがあり、このままの状態で使用を続ける、球ボルト保持金具が機能を失い、最悪の場合、球ボルトがソケットより外れ後部ドアが降下するおそれがある。	全車両を点検し、球状継手のソケット上部に圧痕があるものは改良品と交換する。
	E-KG2		KG1-017389		2,039		
	M-KN1	スバル レックス コンビ	KG2-002001 }	昭和62年8月10日	96,049		
	M-KN2		KG2-004039		13,899		
合 計					127,376		

対策箇所説明図



注： 内は、交換部品を示す。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	原動機型式	総排気量(cc)	乗車定員(人)	最大積載量(kg)	備考
スバル	E-KG1	スバル レックス(2WD)	軽・乗用	EK23	544	4	-	
	E-KG2	スバル レックス(4WD)						
	M-KN1	スバル レックス コンビ(2WD)	軽・乗用			2(4)	200(100)	
	M-KN2	スバル レックス コンビ(4WD)						

対象車の車体番号及び製造期間範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄の販売店にお問い合わせください。